

立教大学文学部文学科英米文学専修主催  
公開講演会

*How Billy Budd Grew Black and Beautiful:  
Versions of Melville in the Digital Age*

*John Bryant (Hofstra University)*

*July 3, 2015 (18:30 ~ 20:00)*

立教大学池袋キャンパス 本館1203 教室

米国を代表する作家ハーマン・メルヴィルの遺作、『ビリー・バッド』に焦点を当て、その黒人表象を精査。何段階にも及ぶ作者の改稿プロセスを丹念にたどることで、「流動的テキスト」としてある文学作品の意味を探るとともに、そのプロセスを一望するための電子ツール（Melville Electronic Library）がもたらす新たな読みの可能性を開示する。講演言語は英語（通訳なし）。

講師紹介

ジョン・ブライアント氏（米国ホフストラ大学英文科教授）。1990年、米国メルヴィル協会の機関誌、*Melville Society Extracts* の責任編集者に就任し、2006年、メルヴィル研究専門誌 *Leviathan* の創設に尽力。2014年まで同誌の責任編集を務めた。主著に、*Melville and Repose: The Rhetoric of Humor in the American Renaissance* (1993)、「流動的テキスト」論を提唱した *The Fluid Text: A Theory of Revision and Editing for Book and Screen* (2002)、その理論を応用した *Melville Unfolding: Sexuality, Politics, and the Versions of Typee* (2008) など。現在、新たなメルヴィルの評伝、*Herman Melville: A Half Known Life* の出版を準備中。

講演に先立ち、17時より、懇親会（無料）を開催します。  
参加を希望される方は、詳細をお知らせしますので、下記にご連絡下さい。

問い合わせ先：英米文学専修主任 舌津智之（zetsu@rikkyo.ac.jp）